一般社団法人ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン　〒107-0062 東京都港区南青山2-4-15 天翔南青山ビル S504　http://mmcj.org

Music Masters Course Japan YOKOHAMA-TOKYO 6.28 -7.16 2018

終了報告書

mmcj
Music Masters Course Japan

メッセージ

Message

皆さまから頂戴しました温かいご支援をもちまして
今年のMMCJ2018は大きな成果をあげ、無事に終了することが出来ました。
期間中は世界各国から集まった優秀な学生と講師陣が
横浜みなとみらいホールの施設内で、連日、熱心な活動を繰り広げました。
今年の参加学生の水準は例年にもまして非常に高く
大変充実した内容の講習会となりました。

オーケストラコンサートのプログラムでは、ベートーヴェンの交響曲第１番とともに
バルトークの管弦楽のための協奏曲に初挑戦。さらに昨年から始めました
日本の作曲家への新作委嘱として、猿谷紀郎氏の「エウレカ」を初演、好評をいただきました。
期間中に開催した講師コンサート、学生による室内楽のコンサート
東京と横浜でのオーケストラコンサートは、いずれも多くのお客様にご来場いただき
大変熱気に溢れたコンサートとなりました。

また、今年もスケジュールの合間を縫って、横浜の三渓園で
「茶の湯」を体験するとともに、江戸伝統芸能「江戸手妻」を楽しみました。
昼休みのミニコンサートとして国際弁護士で音楽にも造詣が深い松尾翼先生による
レクチャーとともに、滝廉太郎作曲「荒城の月」や山田耕筰作曲「この道」を聴き
日本の文化と音楽の歴史に思いを馳せ全員で「荒城の月」を合唱しました。

横浜という魅力溢れる街に約３週間滞在し、音楽を通して国際交流を行うMMCJは
すべての参加者にとって生涯忘れることのできない貴重な経験となり
今後参加者各々の輝かしい活動に生かされていくことでしょう。
近い将来、世界の音楽界を担っていくであろう若い才能と
既に世界の第一線で活躍中の音楽家が
日本の横浜で世界最高水準の音楽体験を実現しているMMCJは
まさに日本や横浜の存在を世界に印象づける、最も具体的かつ効果的な事業
であることをあらためて実感した３週間でもありました。

頂戴しました温かいご支援に心より厚く御礼申し上げますとともに
今後とも引き続きMMCJにご支援賜りますようお願い申し上げます。

©Rowland Kirishima

大友直人

MMCJについて

about MMCJ

日本と世界を知るグローバルな人材育成

海を越えた相互理解 文化交流

創造都市・横浜で開催する国際教育音楽祭

行政・民間の両輪によるサポート

国籍や地域を超えた等しい受講の機会

Program & Organization

名称：ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン ヨコハマ２０１８

会場：横浜みなとみらいホール、紀尾井ホール

主催：一般社団法人ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン

共催：横浜市
横浜みなとみらいホール（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

助成：横浜市
神奈川県
公益社団法人企業メセナ協議会 2021 芸術・文化による社会創造ファンド
一般社団法人東京倶楽部

日程：2018年6月２８日～7月16日

■マスターズ・コース

室内楽…6月２８日～7月１０日
オーケストラ…7月１２日～ 16日

■演奏会

7 月5日（木）19:00 開演
ガラ・コンサート（講師室内楽コンサート）
横浜みなとみらいホール 小ホール

7月6日（金）11:30 開演
受講生によるロビー・コンサート VOL.1
横浜みなとみらいホール 1Fエントランス

7月9日（月）14:00 開演
受講生によるロビー・コンサート VOL.2
アニヴェルセル　みなとみらい横浜

7月10日（火）18:00 開演
受講生による室内楽コンサート
横浜みなとみらいホール 小ホール

7月15日（日）14:00 開演
オーケストラ・コンサート
横浜みなとみらいホール 大ホール

7月16日（月・祝）14:00 開演
オーケストラ・コンサート
紀尾井ホール

■横浜市民無料招待（来場者６５１名）

7月5日（木） ガラ・コンサート
7月10日（火） 受講生による室内楽コンサート
7月15日（日） オーケストラ・コンサート

法人協賛：株式会社 AOKI ホールディングス
認定 NPO 法人あっちこっち
特定非営利活動法人イエロー・エンジェル
株式会社エリナ
株式会社クロスポイント・アドバイザーズ
特定非営利活動法人世界芸術文化振興協会
中外製薬株式会社
東急グループ
株式会社ドワンゴ
日本農産工業株式会社
ニューバーガー・バーマン株式会社
ハウス食品グループ本社株式会社
富士ゼロックス株式会社
弁護士法人 松尾綜合法律事務所
三井不動産株式会社
三井物産株式会社
株式会社有帆
株式会社横浜銀行
横浜トヨペット株式会社
RIZAP グループ株式会社

個人協賛：赤羽 紀武／井上 準二／枝川 知生／
岡山 康子／奥本 真一郎／角山 一俊／片山 國正／
金子 明彦／倉橋 眞起子／古河 久人／兒玉 圭司／
近衛 忠煇／佐久間 舜二／佐藤 雅典／清水 壽明／
鈴木 崇／高野 孟／筑紫 勝麿／遠山 精一／
中内 靖／長岡 宣好／中原 悦夫／中村 正弘／
成田 善太／成宮 俊雄／丹羽 徹／野澤 顯治／
平井 和成／平尾 卓也／服山 玲子／保倉 光邦／
堀 光子・四郎／前田 浩雄／宮本 千賀子／村上 誠典／
山田 保子／山梨 広一／ Y.K.、匿名希望8名

協力：アニヴェルセル みなとみらい横浜
税理士法人アルタス
アローヘッド・インターナショナル株式会社
ジャパン トラディショナル カルチャーラボ株式会社
東急電鉄
東京コンサーツ
ナビオス横浜
マエストローラ音楽院
松尾 翼
協同組合元町 SS 会
横浜ベイホテル東急

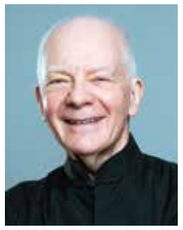
制作ディレクター：村田 千佳
制作マネージャー／ライブラリアン：荒井 風香
ステージマネージャー 近藤 直人／平林 直人
広報：佐藤 容子
写真：平舘 平
映像：木下 淳
制作：伊藤 あみか／篠原 敏修／豊岡 広美／
中村 理枝子／平出 花子／吉田 まゆき
デザイン：加賀田 恭子

【一般社団法人ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン】　〒107-0062 東京都港区南青山 2-4-15 天翔南青山ビル S504 http://mmcj.org
代表理事：大友 直人　**理事：**車谷 暢昭（会長）、石川 洋、奥本 真一郎、野宮 博　**監事：**美澤 臣一　**事務局長：**堀田 研二

Faculties

創設音楽監督
大友 直人
群馬交響楽団 音楽監督
京都市交響楽団 桂冠指揮者
東京交響楽団 名誉客演指揮者
琉球交響楽団 音楽監督

創設音楽監督
アラン・ギルバート
NDR エルプフィルハーモニー管弦楽団
首席指揮者（2019-）
東京都交響楽団 首席客演指揮者
ロイヤル・ストックホルム・
フィルハーモニー管弦楽団 桂冠指揮者



芸術監督
マイケル・ギルバート
元ニューヨーク・フィルハーモニック
ヴァイオリン奏者
元ジュリアード音楽院教授

音楽監督／ヴァイオリン
ジェニファー・ギルバート
フランス国立リヨン管弦楽団
コンサートマスター

ヴァイオリン
ハーヴィー・デ・スーザ
アカデミー室内管弦楽団
首席奏者

ヴァイオリン
建部 洋子
元ニューヨーク・フィルハーモニック
ヴァイオリン奏者
元マンハッタン音楽院教授

ヴィオラ
鈴木 学
東京都交響楽団
ソロ首席奏者

ヴィオラ
マーク・デスモン
フランス放送
フィルハーモニー管弦楽団
ヴィオラ第１首席奏者

チェロ
エリック・キム
インディアナ大学
ジェイコブス音楽院教授

チェロ
ニコラ・アルトマン
フランス国立リヨン管弦楽団
ソロチェリスト

チェロ
カイサ・ウィリアム＝オルソン
ロイヤル・ストックホルム・
フィルハーモニー管弦楽団
チェロ奏者

クラリネット
ヴィセンテ・アルベローラ
マーラー室内管弦楽団 首席クラリネット奏者
レ・ディソナンス首席奏者
オルケスタ・ヴィーゴ 430管弦楽団 音楽監督

MMCJ Talk

車谷 暢昭（くるまたに のぶあき） MMCJ 理事・会長 × 大友 直人 MMCJ 創設音楽監督

2017年秋より MMCJ 会長に就任した車谷氏（東芝取締役・代表執行役会長兼 CEO）に、MMCJ 大友直人代表理事がお話をうかがい、音楽や芸術の価値、これからの支援のあり方など、大いに語っていただきました。

車谷 暢昭／愛媛県出身。1980年東京大学経済学部卒、同年三井銀行（現三井住友銀行）入行。2007年三井住友銀行執行役員、2012年三井住友フィナンシャルグループ常務執行役員。2015年三井住友銀行取締役副頭取執行役員、三井住友フィナンシャルグループ副社長執行役員。2017年シーヴィーシー・アジアパシフィック・ジャパン（株）会長。2018年6月より現職、東芝取締役・代表執行役会長 CEO。

大友：この度は大変お忙しい中、（MMCJ 会長を）お引き受けくださりありがとうございます。

車谷：僕は小さい頃から少年合唱に所属して歌が好きで、下手なんですがピアノも習っていました。中学・高校時代はギターを弾いていて、東大の駒場祭でも演奏したり。もともと音楽は好きなんです。私の娘も小さい頃から日フィルの定期演奏会に連れて行ったりしました。家内は音楽も歌舞伎も大好き。芸術は、わが家にとって近しい、親近感のあるものです。
でも2年程前でしたか、お話をいただいた時は驚きました。小林陽太郎さん（前 MMCJ 会長）は僕らの世代にとってあまりに偉大な方なので、その後というのは気がひけるし荷が重いな、と実は何度かご辞退させて頂いたのです。でも皆さんから「是非に！」と言っていただき、今回大変僭越ながらお引き受けしました。
日本企業も新陳代謝が進んできており、産業の変遷とともに新しい企業がたくさん出てきていますから、そういった先端企業の協賛を得ていくことも大事だと思っています。今ある大企業からの協賛も大切にしながら、そういった先端企業のオーナーを中心に年に1社でも2社でも支援の輪を着実に広げていき、財政基盤を安定させていく。そういったことが大事であり、僕の務めだと考えています。

■音楽の力、MMCJ の魅力

大友：ありがとうございます。車谷さんとお知り合いになって何年か経ちますが、初めてお会いした時から音楽への造詣も深く、音楽を愛し、音楽の力や魅力、価値を理解してくださっている素晴らしい方だな、と感じていました。ご家族でも音楽に親しんでいらっしゃるのですね。約20年前の MMCJ 立ち上げの時から大変お世話になった小林陽太郎さんも、非常に文化的に視野の広い経営者でした。文化支援・学術支援にとても積極的な方で、我々に対しても力強い支援をいただきました。残念ながらまだ若くして亡くなられ、後任探しに苦労していたのですが、当初から、車谷さんにお願いできないかな、と考えて何度かお話をさせていただきました。今回お引き受けくださったことは私たちにとって大変な喜びです。タイミングは東芝のお話がある前だったそうですね。我々にとっては大変幸運だったと思いますし、車谷さんにはきっと末長くお付きあいいただけるものと思っています。先ほど車谷さんがおっしゃったように、日本経済界の中核をなしていた世代、綺羅星のような方々が第一線を退かれ、今はまた次の世代へと変遷していますね。これからは、日本の国づくりとしての文化の役割を作っていくことも、とても大切なことだと思います。MMCJ は小さなプロジェクトですが、本当の意味での「国際化」、世界と日本が対等な立場で繋がって新しい音楽創造の場を作っていく、という意味で、私は自信を持ってライフワークとして続けてきたのです。

車谷：僕は絵も好きで自分でも集めたりするのですが、音楽や絵というのは国境を越えて無条件に感動してしまうパワーがありますね。100年前の絵でも、何度見てもあらためて新鮮な感動を覚えます。画家が本気で描いた作品のパワーは本当に凄いんです。自分の好きな人を描いたときと売り絵の持つオーラは、全く違うんですね（笑）。ある画家の作品を、家内らがみんな「あの絵は怖い」「怖いから売って欲しい」と受け付けなかったため、知人にお譲りしたこともあります。音楽も同じように、チャイコフスキーやベートーヴェンの音楽はいま聴いても毎回新鮮です。何度も再演されて、いまや国境を超えて理解しあえる共通言語になっている。本当に凄いことですし、そういうものに多少なりとも関わることができるのは嬉しいことです。
それに、新進企業のオーナーたちと話してみると、若い世代の彼らもまた芸術やクラシックのような価値の世界を見てみたい、できることならば協力したいと強い興味を示しているんです。僕らの世代が「こういう風に貢献しましょうよ」と声をかけてあげれば、彼らにとっても新しい世界が広がります。音楽の力は、ある意味、経済の力を上回るところもありますから。
MMCJ は18年も続いていて、これだけ国際的な展開もしている。こういうプロジェクトはあまりないですよね。最近、私の知人関係で海外コンクールの優勝経験もある将来有望なチェリストの子が、来年は MMCJ を受講したい、と言っていました。それだけレベルの高いものを無償で提供している、それを18年も続けているというのは凄いことです。なかなかできることではないと思います。

■受講生はヴィンテージ・ワイン

大友：MMCJ は熱意や才能が非常に高いグループだと思います。まだ経験の浅い若手が集まるセミナーなので、「経験ゆたかな」という意味でのプロフェッショナルとは少し違いますが、実際に今年の MMCJ をお聴きになられて、いかがでしたか？

車谷：ワインで言えば、すごくいいヴィンテージの若いワイン。感覚的な印象なのですが、まだ若いので、あまり開いていなくて少し固い、とでも言いましょうか。（熟成したワインのように）香りがパーッと立つような感じにはまだ至らない、そういった違いはあるのかなと思います。でも良いもの、いいヴィンテージのいい土地のワインというのは若くても「良さ」がわかります。家内も先日の演奏会はとても新鮮で良かったと言っていました。

大友：嬉しいです。これは私の個人的な印象ですが、MMCJ は本当に多国籍混成チームなので、日本で組織したグループとしては最も国際色豊かなものだと思います。私も国内外で指揮台に立ちますが、日本人だけで組織されたオーケストラと海外のオーケストラではやはり違いがあります。MMCJ は紛れもなく後者のオーケストラに近い、空気感と音があるんです。
その違いを言葉で説明するのはとても難しいのですが、私の見解では、人間一人ひとりが持っている感性の違いではないかと思います。日本で生まれ育った人が持つ感性、また違う地域で生まれ育った人の感性、みんな違います。その異なる感性が集まることによって、特別な広がりが生まれる。ここが音楽の面白さだと思います。演奏家は、多くの人が集まって一つの音楽を作り上げますが、異なる感覚を持った人が集まって一つのものを作り上げることに集中するとき、日本人だけのグループ、あるいはドイツ人だけ、アメリカ人だけのグループ、同一民族のグループでやる場合に比べて、少しずつ異なる文化的背景を持つ人たちのグループでやった場合に出てくる「空気の広がり」が非常に面白いんです。日本のオーケストラはレベルも高く精密ですが、MMCJ で音楽づくりをする時の空気感や結果は、私自身とても得るものが大きくとても興味深いと感じます。

車谷：そういえば、ベルリンもウィーンも、ニューヨークも、みんなそれぞれに音が違いますよね。どうして違うんだろうと思っていました。

■オーケストラのグローバル化は世界的潮流

大友：実はとても面白いのは、ベルリン・フィルはカラヤン時代から国際化を進めているんです。日本人初のメンバーはなんと1959年入団のヴィオラの土屋邦雄さん。そして安永徹さんをコンサートマスターとしてカラヤンが採用し（編注：1977年に第1ヴァイオリン奏者として入団、83年第1コンサートマスター就任）、その後も多くの日本人が活躍しています。日本人だけでもそんな状況ですから、ベルリン・フィルというのは世界中から優秀な人材を集めている多国籍チームなんです。かつてのウィーン・フィルは純血主義でしたが、ここ10年ほどで随分変わりました。今ではブルガリア人の女性のコンサートマスターもいます。オーケストラの多国籍化・国際化というのは、現代の世界的潮流です。私が MMCJ を立ち上げた理由の一つは、日本も世界の潮流を知り、さらに一歩進んだものづくりをしなければ、という思いが強かったからです。この観点で言えば、現在の日本は残念ながら一歩遅れていると言わざるを得ません。

車谷：遅れていますか。産業界も遅れています（笑）。

大友：日本の現状をしっかり把握し見据えた上で、自分たちに何ができるか。一音楽家として、これからも続けていきたいと思いますし、MMCJ はそうした現場の取り組みの一つであると言えます。

車谷：音楽や芸術というのは、コスモポリタンなんでしょうね。価値がグローバルに変わらない。いいものはいい、と。価値は共有され一つなので、グローバル化がしやすいのかもしれません。
横山大観という日本画家がある時期アメリカに渡っているのですが、自分が５ドル（の価値）だと思った作品が100ドルでポンポン売れたらしいんです。彼の芸術は、初めて見る現地の画商にとっても、価値があった。ニューヨークという街は、自分の作品にあっという間にバリューをつけてくれた、それで自分の目線が随分変わった、という話を本で読みました。芸術には普遍性がある。
日本のオーケストラの状況は世界の潮流とはまた異なるのでしょうか？

大友：一番遅れているところですね。異質なものと出会う、ということは大きなストレスを伴いますから。このストレスを受け止めて乗り越える、ということは実は大変なことなのです。でも敢えて、自分が一番苦手なことをやろう、と私は考えています。自分と異質なものを体験して、できれば消化して、次へ進む。このことから逃げてはいけないと思うんです。MMCJ も自分と違う感性、感覚、考え方の人と一緒にものづくりをする、それを体験することで、自分自身をさらに掘り下げ、広がっていくことに繋がりますから。

車谷：私もベンチャーの若い世代と話すと「こんな凄いこと考えてるんだ」「僕にはない発想だな」と、必ず勉強になります。経験が圧倒的に乏しい人たちでも、自分にとって気づきが多いですね。自分が進化できるのです。

大友：われわれもそうです。学生からも刺激をもらいますし、また同僚の先生方からも大いに刺激を受けます。世界中に散らばって活動している彼らが、この一年間でどんな進化を遂げたか。学生の頃から10年前、5年前、現在、とどんどん進化していますから。お互いに刺激しあって、勉強できる。それがまた MMCJ の大きな魅力です。
車谷さんには、新しい未来をつくる、創造の仲間に加わっていただいて、いろんな知恵やアイディアをいただけたらと思い、本当に心強いです。これからよろしくお願いします。

車谷：微力ながら（笑）。

Timeline

レパートリー A（古典派）

モーツァルト：弦楽四重奏曲第 15 番ニ短調 K.421
モーツァルト：弦楽四重奏曲第 18 番イ長調 K.464
ハイドン：弦楽四重奏曲第 62 番ハ長調 op.76-3「皇帝」
ハイドン：弦楽四重奏曲第 66 番ト長調 op.77-1

レパートリー B（ロマン派以降）

メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第 2 番イ短調 op.13
シューベルト：弦楽四重奏曲第 13 番イ短調 D804「ロザムンデ」
ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第 9 番ハ長調 op.59-3「ラズモフスキー第 3 番」
ドビュッシー：弦楽四重奏曲ト短調 op.10

木管楽器

パキート・デリヴェラ：アリア・トロピカル
バーバー：サマー・ミュージック
ダマーズ：木管五重奏曲 17 の変奏曲
フランセ：木管五重奏曲第 1 番
マスランカ：木管五重奏曲第 3 番
タファネル：木管五重奏曲
セルヴァンスキー：木管五重奏曲第 1 番
ビゼー：カルメン組曲

6/28

オリエンテーション

〈弦楽器〉
13:30-15:30 …レパートリー A 練習
16:00-18:00 …レパートリー B 練習
〈木管楽器〉
13:30-15:30 …練習
16:00-18:00 …練習

29

〈弦楽器〉
10:00-12:00 …レパートリー B 練習
13:30-15:30 …レパートリー A 練習
16:00-18:00 …レパートリー B 練習
〈木管楽器〉
10:00-12:00 …練習
14:00-16:00 …練習

30

〈弦楽器〉
10:30-12:00 …レパートリー A レッスン
13:00-14:30 …レパートリー B レッスン
15:00-16:30 …レパートリー B 練習
16:45-18:15 …レパートリー A 練習
〈木管楽器〉
10:00-12:00 …レッスン
14:00-15:30 …練習
16:00-17:00 …レッスン

7/1

〈弦楽器〉
10:30-12:00 …レパートリー B レッスン
13:00-14:30 …レパートリー A レッスン
15:00-16:30 …レパートリー A 練習
16:45-18:15 …レパートリー B 練習
〈木管楽器〉
10:00-12:00 …練習
14:00-15:30 …レッスン
16:00-17:00 …練習

2

13:30-14:30
オープニングセレモニー
講師・受講生公式顔合わせ

〈弦楽器〉
10:00-11:15 …レパートリー A レッスン
11:30-12:30 …レパートリー B レッスン
14:30-16:30 …レパートリー B 練習
16:45-18:30 …レパートリー A 練習
〈木管楽器〉
10:30-12:30 …レッスン
14:00-17:00 …練習
17:00-18:00 …レッスン

3

09:00-13:00
日本伝統文化体験（三渓園）
〜江戸手妻・茶道体験〜

〈弦楽器〉
15:00-16:00 …レパートリー A レッスン
16:15-17:15 …レパートリー B レッスン
17:30-19:00 …レパートリー B 練習
〈木管楽器〉
15:00-17:00 …練習
17:30-19:00 …レッスン

4

〈弦楽器〉
09:00-10:30 …レパートリー B レッスン
10:45-12:15 …レパートリー A 練習
15:00-16:45 …レパートリー B 練習
17:00-18:00 …レパートリー A レッスン
〈木管楽器〉
09:30-10:30 …レッスン
10:45-12:15 …練習
15:00-16:30 …練習

5

10:45-11:20
幼稚園児のためのミニコンサート
19:00-
講師陣によるガラ・コンサート

〈弦楽器〉
09:00-12:00 …個人練習
13:00-15:00 …レパートリー A 練習
15:30-18:00 …レパートリー B 練習
〈木管楽器〉
09:30-10:30 …練習
11:30-12:30 …レッスン

6

11:30-
受講生によるロビー・コンサート

〈弦楽器〉
09:00-11:00 …ゲネプロ
14:30-15:45 …レパートリー A レッスン
16:00-17:15 …レパートリー B レッスン
〈木管楽器〉
09:00-10:30 …ゲネプロ
14:30-16:00 …練習

7

〈弦楽器〉
09:00-10:45 …レパートリー B 練習
11:00-12:15 …レパートリー A 練習
13:30-14:45 …レパートリー B レッスン
15:00-16:15 …レパートリー A レッスン
17:15- …個人レッスン
〈木管楽器〉
10:00-11:00 …練習
11:00-12:00 …レッスン

8

〈弦楽器〉
10:00-12:00 …オーケストラ パート練習
13:00-14:30 …レパートリー B 練習
14:45-16:15 …レパートリー A レッスン
16:30-18:00 …レパートリー B レッスン
19:30-21:00 …レパートリー A 練習
〈木管楽器〉
10:00-12:00 …オーケストラ パート練習
13:00-14:30 …練習
14:45-16:15 …レッスン
16:30-18:00 …レッスン
19:30-21:00 …練習

9

14:00-15:00
受講生によるロビー・コンサート
16:30-17:30
戸塚高校吹奏楽部指導

〈弦楽器〉
10:00-11:15 …レパートリー B 練習
11:45-13:30 …ゲネプロ
16:00-17:45 …レパートリー B レッスン
〈木管楽器〉
10:00-11:15 …レッスン

10

18:00-
受講生による室内楽コンサート

〈弦楽器〉
09:30-11:15 …レパートリー B 練習
11:30-13:30 …レパートリー A 練習
〈全グループ〉
10:00-13:15 …ゲネプロ

11

休日（自由行動）

12

12:30-13:15
日本の歌ミニコンサート

14:00-21:00 …オーケストラ・リハーサル

13

15:30 - 17:00
公開リハーサル

14:00-20:00 …オーケストラ・リハーサル

14

14:00-19:00
オーケストラ・リハーサル

15

14:00-
オーケストラ・コンサート
（横浜みなとみらいホール）

10:30-13:00 …ゲネプロ

16

14:00-
オーケストラ・コンサート
（紀尾井ホール）

11:40-12:50 …ゲネプロ
19:00-…フェアウェルパーティー

ガラ・コンサート（講師室内楽コンサート）

Gala Concert

2018 年 7 月 5 日（木）19:00　横浜みなとみらいホール 小ホール　入場者数：353 名

R. シュトラウス：弦楽六重奏のためのカプリッチョ op.85

1st Violin:　ハーヴィー・デ・スーザ
2nd Violin:　ジェニファー・ギルバート
1st Viola:　マーク・デスモン
2nd Viola:　鈴木 学
1st Cello:　カイサ・ウィリアム＝オルソン
2nd Cello:　エリック・キム

モーツァルト：クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581

Clarinet:　ヴィセンテ・アルベローラ
1st Violin:　ハーヴィー・デ・スーザ
2nd Violin:　ジェニファー・ギルバート
Viola:　マーク・デスモン
Cello:　ニコラ・アルトマン

ドヴォルザーク：弦楽六重奏曲 イ長調 op.48

1st Violin:　ジェニファー・ギルバート
2nd Violin:　ハーヴィー・デ・スーザ
1st Viola:　鈴木 学
2nd Viola:　マーク・デスモン
1st Cello:　エリック・キム
2nd Cello:　ニコラ・アルトマン

受講生によるロビー・コンサート（入場無料）

Lobby Concert

VOL.1　2018年7月6日（金）11:30
横浜みなとみらいホール エントランス

セルヴァンスキー：木管五重奏曲第１番 より 第 2,3,4 楽章

Flute:
大平 治世
Oboe:
太田 妃佳里
Clarinet:
ダリオ・ブリニョリ
Bassoon:
ルー・ユアン
Horn:
アドリアン・ラヴィア・ピントス

モーツァルト：弦楽四重奏曲第１５番 ニ短調 K.421より 第1楽章

1st Violin:
田島 奈央子
2nd Violin:
エミー・ティスデル
Viola:
チェン・ハウ・ユアン "ハワード"
Cello:
ジェイク・クリンケンボルグ

ハイドン：弦楽四重奏曲第６６番 ト長調 op.77 No.1より 第1楽章

1st Violin:
ジュリア・ダニッツ
2nd Violin:
金 美里
Viola:
ジャスリン・コディ・ジェンセン
Cello:
金子 遥亮

ハイドン：弦楽四重奏曲第 62番 ハ長調 op.76 No.3 より 第1楽章

1st Violin:
エリザベス・スキナー
2nd Violin:
シ・シアオシュアン
Viola:
ソフィー・ムゾン
Cello:
グズマン・キーン・リー

モーツァルト：弦楽四重奏曲第１８番 イ長調 K.464 より 第1楽章

1st Violin:
的場 ゆきえ
2nd Violin:
アミア・ヤニツキ
Viola:
エヴァン・パトリック・ロビンソン
Cello:
ウォン・ミン・ジ

メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第２番 イ短調 op.13 より 第1楽章

1st Violin:
アミア・ヤニツキ
2nd Violin:
田島 奈央子
Viola:
ソフィー・ムゾン
Cello:
金子 遥亮

VOL.2　2018年7月9日（月）14:00
アニヴェルセル みなとみらい横浜 メゾン チャペルラウンジ

ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 op.10 より 第1楽章

1st Violin:
エミー・ティスデル
2nd Violin:
ジュリア・ダニッツ
Viola:
エヴァン・パトリック・ロビンソン
Cello:
グズマン・キーン・リー

ハイドン：弦楽四重奏曲第６２番 ハ長調 op.76 No.3 より 第2楽章

1st Violin:
エリザベス・スキナー
2nd Violin:
シ・シアオシュアン
Viola:
ソフィー・ムゾン
Cello:
グズマン・キーン・リー

シューベルト：弦楽四重奏曲第 13番 イ短調 D804「ロザムンデ」より 第3楽章

1st Violin:
金 美里
2nd Violin:
エリザベス・スキナー
Viola:
チェン・ハウ・ユアン "ハワード"
Cello:
ウォン・ミン・ジ

モーツァルト：弦楽四重奏曲第１８番 イ長調 K.464 より 第3楽章

1st Violin:
的場 ゆきえ
2nd Violin:
アミア・ヤニツキ
Viola:
エヴァン・パトリック・ロビンソン
Cello:
ウォン・ミン・ジ

ハイドン：弦楽四重奏曲第６６番 ト長調 op.77 No.1 より 第 2,3 楽章

1st Violin:
ジュリア・ダニッツ
2nd Violin:
金 美里
Viola:
ジャスリン・コディ・ジェンセン
Cello:
金子 遥亮

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第９番 ハ長調 op.59 No.3 より 第1楽章

1st Violin:
シ・シアオシュアン
2nd Violin:
的場 ゆきえ
Viola:
ジャスリン・コディ・ジェンセン
Cello:
ジェイク・クリンケンボルグ

フランセ：木管五重奏曲第１番 より 第 1,2 楽章

Flute:
大平 治世
Oboe:
太田 妃佳里
Clarinet:
ダリオ・ブリニョリ
Bassoon:
ルー・ユアン
Horn:
アドリアン・ラヴィア・ピントス

受講生による室内楽コンサート

Chamber Music Concert

2018年7月10日(火)18:00 横浜みなとみらいホール 小ホール　入場者数：173 名

パキート・デリヴェラ：アリア・トロピカル

Flute:
大平 治世

Oboe:
太田 妃佳里

Clarinet:
ダリオ・ブリニョリ

Bassoon:
ルー・ユアン

Horn:
アドリアン・ラヴィア・ピントス

メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲第2番 イ短調 op.13 より 第 2,4 楽章

1st Violin:
アミア・ヤニツキ

2nd Violin:
田島 奈央子

Viola:
ソフィー・ムゾン

Cello:
金子 遥亮

モーツァルト：弦楽四重奏曲第15番 ニ短調 K. 421 より 第1,4 楽章

1st Violin:
田島 奈央子

2nd Violin:
エミー・ティスデル

Viola:
チェン・ハウ・ユアン"ハワード"

Cello:
ジェイク・クリンケンボルグ

モーツァルト：弦楽四重奏曲第18番 イ長調 K.464 より 第 1 楽章

1st Violin:
的場 ゆきえ

2nd Violin:
アミア・ヤニツキ

Viola:
エヴァン・パトリック・ロビンソン

Cello:
ウォン・ミン・ジ

ハイドン：弦楽四重奏曲第66番 ト長調 op.77 No.1 より第 2,4 楽章

1st Violin:
ジュリア・ダニッツ

2nd Violin:
金 美里

Viola:
ジャスリン・コディ・ジェンセン

Cello:
金子 遥亮

ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 op.10 より 第 2,3 楽章

1st Violin:
エミー・ティスデル

2nd Violin:
ジュリア・ダニッツ

Viola:
エヴァン・パトリック・ロビンソン

Cello:
グズマン・キーン・リー

シューベルト：弦楽四重奏曲第 13番 イ短調 D804「ロザムンデ」より 第 1 楽章

1st Violin:
金 美里

2nd Violin:
エリザベス・スキナー

Viola:
チェン・ハウ・ユアン"ハワード"

Cello:
ウォン・ミン・ジ

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第9番 ハ長調 op.59 No.3 より第 3,4 楽章

1st Violin:
シ・シアオシュアン

2nd Violin:
的場 ゆきえ

Viola:
ジャスリン・コディ・ジェンセン

Cello:
ジェイク・クリンケンボルグ

ハイドン：弦楽四重奏曲第62番 ハ長調 op. 76 No.3 より第 3,4 楽章

1st Violin:
エリザベス・スキナー

2nd Violin:
シ・シアオシュアン

Viola:
ソフィー・ムゾン

Cello:
グズマン・キーン・リー

オーケストラ・公開リハーサル Open Rehearsal of MMCJ Orchestra

2018年7月13日(金)15：30 ～ 17：00

日本伝統文化体験

Cultural Events

2018年7月3日(火)9:00～13:00　三渓園 鶴翔閣

MMCJ6日目は横浜の名勝、三渓園を訪問。園内を散策し美しい緑の景観を楽しんだあとは、鶴翔閣で茶道体験へ。和敬清寂の心得、作法やしつらえの意味を教わるほどにその哲学の奥深さを感じました。互いにお茶を点てあい、受講生たちは和気藹々。江戸手妻（手品）の実演では、目の前で繰り広げられる多彩なトリックに目が釘付け。和のエンターテインメントを満喫しました。

横浜市立戸塚高校吹奏楽部指導

Outreach

2018年7月9日(月) 16:30 ～ 17:30
講師：ヴィセンテ・アルベローラ

世界的クラリネット奏者のヴィセンテ・アルベローラが行う、戸塚高校吹奏楽部訪問指導は毎年恒例となった催し。この日の練習曲はグリーグの「十字軍の兵士シグール」。約 1 時間の指導でしたが、フレーズの歌い方、互いに聴きあう姿勢など、音楽的に濃い内容で、瞬く間に時間が過ぎました。「（言葉の壁を越えて）表現がわかりやすい！」と生徒たちも大満足の様子でした。

日本の歌 ミニコンサート

Japanese Songs

2018年7月12日(木) 12:30～13:15
ソプラノ：遠藤 紗千　ピアノ：村田 千佳

海外国内両方の受講生に、日本独自の音楽文化を持ち帰ってほしいという願いから企画立案された、もう一つの日本文化体験プログラム。国際弁護士の松尾翼先生から、横浜の歴史や日本に西洋音楽が入ってきた時代のお話をうかがった後、「荒城の月」の実演を鑑賞。日本固有の「ヨナ抜き音階」やシンプルな歌詞の奥に広がる情景などの解説とともに、その世界観を味わい、一緒に歌いました。

キッズコンサート

Concert for Kids

2018年7月5日(木)10:45～11:20

横浜市内インターナショナルプリスクール（幼稚園）の子供たちを招いて、ミニサロンコンサートを開催。弦楽四重奏と木管五重奏、楽器や曲目のお話を交えて演奏しました。間近に触れる本物の音に、子供たちの眼が輝き身体も自然に動き出します。年長さんは、昨年の演奏もしっかり覚えていました。この中から音楽を志す子が出るかもしれませんね。

Orchestra Concert

2018年7月15日(日)14:00 横浜みなとみらいホール 大ホール　入場者数：803名
2018年7月16日(月・祝)14:00 紀尾井ホール　入場者数：482名

Violin: ヴァイオリン
●ジェニファー・ギルバート
ジュリア・ダニッツ
アミア・ヤニツキ
金　美里
的場 ゆきえ
エリザベス・スキナー
シ・シアオシュアン(石 小玄)
田島 奈央子
エミー・ティスデル
◎藍川 理映子
■朝来 桂一
■石井 華子
◎一重 弘子
■岡部 綾子
◎九鬼 明子
■柴山 貴喜
■滝口 泰子
■藤村 知史
◎松野 弘明
■松本 由梨
■向山 敦子
■吉野 駿

Viola ヴィオラ
●マーク・デスモン
チェン・ハウ・ユアン“ハワード”
ジャスリン・コディ・ジェンセン
ソフィー・ムゾン
エヴァン・パトリック・ロビンソン
■鶴 友美
■藤本 未来
■松崎 敦子

Cello チェロ
●ニコラ・アルトマン
グズマン・キーン・リー
金子 遥亮
ジェイク・クリンケンボルグ
ウォン・ミン・ジ
◎川上 徹

Contrabass コントラバス
◎吉川 英幸
■土屋 知子
◎長坂 裕美
■長谷川 信久
■古庄 正典

Flute フルート
大平 治世
◎渡辺 泰
◎金野 紗綾香

Oboe オーボエ
太田妃佳里
◎蠣崎 耕三
◎李 英珠

Clarinet クラリネット
●ヴィセンテ・アルベローラ
ダリオ・ブリニョリ
■後藤 詩絵

Bassoon ファゴット
ルー・ユアン
◎草野 雅行
◎高橋 美聡

Horn ホルン
アドリアン・ラヴィア・ピントス
◎日高 剛
◎岡田 彩愛
◎吉澤 夏未

Trumpet トランペット
◎伊藤 駿
◎小渕 真実
◎内藤 知裕

Trombone トロンボーン
◎梅澤 駿佑
◎黒木 良太
◎村本 悠里亜

Tuba チューバ
◎荻野 晋

Timpani ティンパニ
◎坂本 雄希

Percussion パーカッション
◎古立 匠
◎佐枝 諒一

Harp ハープ
◎篠原 英子
◎鈴木 明子

●= 講師　■=MMCJ 修了生
◎= サポーティング・アーティスト
無印 =2018年受講生

ベートーヴェン：交響曲第1番ハ長調 op.21

指揮：マイケル・ギルバート

猿谷紀郎：エウレカ(MMCJ 委嘱作品／2018 世界初演)

指揮：大友直人

バルトーク：管弦楽のための協奏曲 Sz.116

指揮：大友直人

Students

Violin ヴァイオリン

ジュリア・ダニッツ
Julia Danitz
U.S.A.
ジュリアード音楽院
The Juilliard School

アミア・ヤニツキ
Amia Janicki
Japan
ウィーン私立
音楽芸術大学
Privatuniversität
der Kunste Wien

金 美里
Miri Kim
Korea
桐朋学園大学
Toho Gakuen College
Music Department

的場 ゆきえ
Yukie Matoba
Japan
桐朋学園大学
Toho Gakuen College
Music Department

エリザベス・スキナー
Elizabeth Skinner
Canada
マギル大学
シューリヒ音楽院
McGill University,
Schulich School of Music

シ・シアオシュアン
（石 小玄）
Xiaoxuan Shi
China
ジュリアード音楽院
The Juilliard School

田島 奈央子
Naoko Tajima
Japan
ジュリアード音楽院
The Juilliard School

エミー・ティスデル
Emmy Tisdel
U.S.A.
ライス大学
シェパード音楽学校
Rice University Shepherd
School of Music

Viola ヴィオラ

チェン・ハウ・
ユアン "ハワード"
Haw Yuan "Howard" Cheng
Taiwan
ジュリアード音楽院
The Juilliard School

ジャスリン・コディ・
ジェンセン
Jossalyn Kodi Jensen
U.S.A.
パリ国立高等音楽・
舞踊学校
CNSMP de Paris

ソフィー・ムゾン
Sophie Mouson
France
リヨン国立高等音楽・
舞踊学校
CNSMD de Lyon

エヴァン・パトリック・
ロビンソン
Evan Patrick Robinson
U.S.A.
マギル大学シューリヒ音楽院
McGill University,
Schulich School of Music

Cello チェロ

グズマン・キーン・リー
Keeon Lee Guzman
U.S.A.
インディアナ大学
ジェイコブズ音楽院
Indiana University Jacobs School of Music

金子 遥亮
Yosuke Kaneko
Japan
桐朋学園大学
Toho Gakuen College Music Department

ジェイク・
クリンケンボルグ
Jake Klinkenborg
U.S.A.
マギル大学シューリヒ音楽院
McGill University, Schulich School of Music

ウォン・ミン・ジ
Min Ji Won
Korea
ジュリアード音楽院
The Juilliard School

Flute フルート

大平 治世
Haruyo Ohira
Japan
桐朋オーケストラ・アカデミー
Toho Orchestra Academy

Oboe オーボエ

太田 妃佳里
Hikari Ota
Japan
東京藝術大学大学院
Tokyo University of the Arts,
Graduate School of Music

Clarinet クラリネット

ダリオ・ブリニョリ
Dario Brignoli
Italy
ツーソン交響楽団（アメリカ）
Tucson Symphony (U.S.A.)

Bassoon ファゴット

ルー・ユアン
Yuan Lu
Taiwan
マンハイム音楽大学
Staatliche Hochschule für Musik
und Darstellende Kunst Mannheim

Horn ホルン

アドリアン・ラヴィア・ピントス
Adrian Lavía Pintos
Spain
オポルト音楽演劇学校
ESMAE, Oporto (Portugal)

Voices

受講生に聞く

MMCJで得たものは？

■かつてないほど強烈な室内楽体験（準備・レッスン）。言葉も文化も個性も違う人との効果的なコミュニケーション。

■背景や理想の異なるメンバーとアンサンブルを組む方法を、より良く理解できた。
オーケストラでマークの隣で演奏し、リードや演奏の方法など多くを教わった。
素晴らしい講師たちのそばで彼らの音楽へのアプローチを聴けたことはとても刺激的だった。

■国籍も違う方々と本当にみんなで協力して全員で 100% の力で音楽に向き合うことができた。

■ヴィオラでより自由に自分を表現できるようになった。人間としての経験を共有し、自分自身について学ぶことができた。

■自分が普段気にしている細かな技術的トラブルが、大きな音楽の流れに混ざることで、別の角度から解消されたように思う。
講師の先生方や仲間の演奏は表現力に溢れていて、言語だけでなく音楽でも自分の知らない語彙をたくさん得ることができた。

■アンサンブルで演奏すること、呼吸やサウンドなど全般。より自分に自信を持つことができた。

■講師陣は経験豊かで、自身のアイディアや音楽の重要なことを教えることに大変な情熱を持っている。今回 2 回目の参加だが前回より多くのことを達成できたと感じる。

■呼吸の仕方、合図の出し方、アンサンブルすること。友人たち。

来場者に聞く

コンサートの感想は？

7月5日 ガラコンサート

■とても心が癒された。クラリネットが良かった。
（70 代・男性）

■一流の講師の演奏会を拝聴でき、感激しております。ありがとうございました。
（60 代・男性）

■これぞ「アンサンブル」という見事な演奏をありがとうございました。（60 代・男性）

■久しぶりに魂があらわれる演奏でした。すばらしかった。（50 代・女性）

■さすが講師の方々の演奏、とても素晴らしかったです。選曲も良かったです。
知らない曲ばかりでしたが、音色が良く、心に入ってきました。（40 代・女性）

■普段あまりコンサートに行かないので意見になりませんが、息の合ったアンサンブルで、迫力があり、きれいな音でとてもよかった。
（20 代・女性）

7月10日 室内楽コンサート

■はつらつとした美しいハーモニー楽しめました。音以外の何かが伝わってまいりました。
（80 代・男性）

■皆様すばらしい演奏でした。短い時間でよくそろったこと。若さの力すごいですね。
これから楽しみです。（70 代・女性）

■世界各国から選ばれた音楽家の演奏は素晴らしく、夢のようでした。今日はこの会場で聴くことができて本当にうれしかったです。
音楽って素晴らしい。世界共通で感動致しました。（60 代・女性）

■ロビーコンサートから聴かせて頂いている為か、出演者の方々に愛着がわいています。
だんだんと上達していくようで
とても楽しめました。（50 代・女性）

■今回音楽をしている4人がアイコンタクトや空気を一緒に感じて演奏している姿に、国境はないんだなあと感じました。
曲を終わった後の笑顔が見ていて
良かったです。（40 代・女性）

7月15日 オーケストラコンサート
（横浜みなとみらいホール）

■今回で2回目だが、やはり実にすばらしい！
各人の持つ能力の高さがうかがわれ、
世界で活躍する音楽家に育ってほしい。
ホールに来られてよかった。（70 代・男性）

■横浜でこのような活動とイベントが行われていることを初めて知りました。さすがにハイレベルな演奏に感銘を受けました。（70 代・男性）

■何十年ぶりでフルオーケストラのコンサートを聴きました。なんといってよいかわかりませんが、とにかく「すばらしい」です。センパイ方の中で若い演奏家の方々が一所懸命に音を合わせ、しかし、個人の個性を目立たせず、自分を出しているかと思うとドキドキしました。
いったい、この 3 週間、どんな練習をして
こられたのでしょうか？とても気になります。
（50 代・男性）

■なめらかでつややかな音でした。
美しい音の中で心からゆったりとしたいい時間を過ごすことができました。これからも楽しみに
参ります。（50 代・女性）

■初めてオーケストラを聴いたのですがとても心に残る演奏会だったと思います。（10 代・男性）

7月16日 オーケストラコンサート
（紀尾井ホール）

■まっすぐなバルトークが良かったです！
ベートーベンが美しすぎです！
ありがとうございました。（60 代・男性）

■感動しました。涙もウルウルでした。
気持ちが音に乗ってくるのでしょうか。ともに暮らし積み上げてきたものが今日、一つの
形になって顕れたのでしょう。ありがとう！
（60 代・男性）

■MMCJ の取り組みはすばらしいと思います。
元気な勢いのあるフレッシュな演奏を
ありがとうございました。（40 代・女性）

■まず、音のクオリティーの高さ、レベルの高さに圧倒されました。音が単調でなく印象的で
絵画的で風景が浮かび上がります。古さの中に
新しさもあり、毎回楽しみです。（50 代・女性）

Media

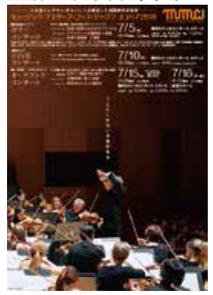
【チラシ／ポスター】

●MMCJ 受講生募集
■チラシ・ポスター
(和文)国内音楽教育機関 20 校(500 部)
横浜市文化観光局(25 部)
(英文)海外音楽教育機関 6 か国 7 校(175 部)
■ポスター
(和文)国内音楽教育機関 20 校(80 部)
横浜市文化観光局(4 部)
(英文)海外音楽教育機関 6 か国 7 校(28 部)

●MMCJ コンサート
■チラシ
・横浜みなとみらいホール
(DM：3,000 部、挟み込み：10,000 部)
・横浜市文化観光局文化振興課
(市内施設配架：6,000 部)
・横浜開港記念祭(挟み込み：2,000 部)
・横浜高速鉄道株式会社(置きチラシ：300 部)
・株式会社横浜銀行(置きチラシ：320 部)
・協同組合元町 SS 会(置きチラシ：500 部)
・紀尾井ホール(置きチラシ・挟み込み：500 部)
・横浜ベイホテル東急(置きチラシ：300 部)
・アニヴェルセル みなとみらい横浜(置きチラシ：50 部)
・東急ストア(3,000 部)
・よみうりカルチャーセンター(2,000 部)
・東京メトロ地下鉄構内ラック(3,000 部)
・劇場折込(横浜近郊)(1,000 部)
・カンフェティ購読者向 DM(1,000 部)
■ポスター
・横浜市文化観光局文化振興課
(大学掲示：A2サイズ 30 部、B1サイズ1部)
・横浜みなとみらいホール
(館内掲示：A2 サイズ4部、B1サイズ1部)
・みなとみらい駅(改札前掲示：A1 ノビ1部)
・横浜高速鉄道株式会社(駅貼り：B1 サイズ6部)
・東急電鉄株式会社(駅貼り：B1 サイズ 10 部)他

●MMCJ ロビーコンサート
■チラシ
・横浜みなとみらいホール(DM：3,000 部)
・アニヴェルセル みなとみらい横浜(置きチラシ：100 部)
・ガラ・コンサート(挟み込み：350 部)　他

MMCJ コンサート チラシ／ポスター



MMCJ 受講生募集 チラシ／ポスター

【ホール・コンサート情報】

●横浜みなとみらいホール
・2018 年度年間カレンダー 2018.4 ～ 2019.3
・コンサートカレンダー 2018.7-9
・Miraist Club 友の会誌「Miraist News」(4,5,6 月号)
・メールマガジン 192 号(6 月 28 日配信)
・協力公演欄で紹介
http://www.yaf.or.jp/mmh/recommend/2018/07/-2018-1.php

●紀尾井ホール
・公演カレンダー　2018 年 5.6.7 月／ 2018 年 7.8.9 月

【ラジオ】

●FM ヨコハマ(6 月 24 日)「YOKOHAMA My Choice!」
●NHK-FM(6 月 29 日)「横浜サウンド☆クルーズ」
●インター FM(6 月 25 日～ 29 日)「Public Service ANNOUNCEMENT」
●ニッポン放送(6 月 29 日)「垣花正　あなたとハッピー！」内コーナー「ようこそ横浜」
http://www.1242.com/radio/happy/

【横浜市プレスリリース】

●横浜市民招待(5月9日)
●横浜市民公開リハーサル(6月13日)
●横浜市立戸塚高校指導プログラム(7 月 3 日)

【MMCJ プレスリリース】

●2018 開催概要(3 月 23 日)

【インターネット】

●MMCJ 公式ウェブサイト、Facebook、Twitter、YouTube **http://mmcj.org**
●横浜市文化観光局ウェブサイト **http://www.city.yokohama.lg.jp/bunka**
●横浜みなとみらいホールウェブサイト、Twitter **http://www.yaf.or.jp/mmh**
●紀尾井ホールウェブサイト **http://www.kioi-hall.or.jp**
●Confetti ウェブサイト **http://www.confetti-web.com/**
●ぶらあぼ Web 版 **http://ebravo.jp/**
●ぴあクラシック Web 版 **http://t.pia.jp/pia/events/piaclassic**
●東京新聞 TOKYO Web **http://www.tokyo-np.co.jp/**
●エンタメ特化型情報メディア SPICE **http://spice.eplus.jp/**「国際教育音楽祭『ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン ヨコハマ 2018』開幕。フィナーレは猿谷紀郎委嘱新作をオーケストラで」
●NHK 横浜放送局「横浜サウンド☆クルーズ」 **http://www.nhk.or.jp/yokohama/program/sc**
●東条碩夫のコンサート日記 **http://concertdiary.blog118.fc2.com/**

【新聞・雑誌・情報誌】

●Confetti
7 月号「PICK UP インタビュー」

指揮者・大友直人とアラン・ギルバートが率いる、国際教育音楽祭の集大成となるコンサート。

若手音楽家と世界トップクラスの指揮者、演奏家が一つの音楽を創る

● ぴあクラシック 2018 Summer Vol.47
「夏・到来！2018 クラシック・サマーフェスティバル」

● AERA No.25「現代の肖像」(6 月 4 日号)

● 東京新聞・横浜版
(6 月 29 日)「国籍超え音楽つくろう」

国籍超え 音楽つくろう
みなとみらいで教育音楽祭
腕磨く若手21人 来月、成果を披露

●音楽の友 7 月号
「全国夏の音楽祭ガイド 2018 with 世界の音楽祭 Pick up Guide」
●神奈川新聞 (6 月 28 日)コンサート情報
●広報よこはま(5月号)

● ぶらあぼ
7 月号「Bravo Tips」